



ひと、暮らし、  
みらいのために  
厚生労働省

Niigata Labour Bureau

新潟労働局

Press Release

新潟労働局発表  
平成29年6月30日

新潟労働局職業安定部職業安定課

職業安定課長 萩原 義博

職業安定課長補佐 星野 浩

地方労働市場情報官 小池 誠

TEL : 025-288-3507 (夜間) 025-288-3540

報道関係者各位

## 北陸ブロック内雇用情勢報告(平成29年1～3月四半期分)について

北陸ブロック（新潟県、富山県、石川県、福井県）内の雇用トピック等を含む雇用情勢報告（平成29年1～3月四半期分）について公表します。

今般、労働行政へのニーズの高まりに対応し、雇用情勢についての情報提供をより一層促進するため、四半期ごとの雇用情勢等について全国のブロックごとに公表することとなり、北陸ブロックについては、新潟労働局が主要局として公表を行うものです。

### ※ 公表内容について

- ・「企業の生の声」については、事業所へのヒアリング等で聞かれた企業の声の中で、地域の雇用動向に関わるものや特徴的な声を集めたものであり、今回は女性の活躍促進に関する企業の取組を掲載しました。
- ・「担当窓口の声」については、毎回設定されたテーマに沿ってハローワークの担当者が窓口業務を通じて感じた声を集めたものであり、今回は学卒担当窓口の担当者が感じた声を掲載しました。

## 北陸ブロックの雇用動向

【平成29年1－3月期の雇用情勢判断】  
「雇用情勢は、改善している」 （判断維持）

	平成29年1－3月期						
	就業地別 有効求人倍率	受雇地別 有効求人倍率	新規求人数 増減率	新規求職者数 増減率	正社員 有効求人倍率	雇用保険 被保険者数 増減率	雇用保険 受給者実人員数 増減率
	【季調値】 （対前期差） （単位:倍、ポイント）	【季調値】 （対前期差） （単位:倍、ポイント）	【季調値】 （対前期比） （単位:%）	【季調値】 （対前期比） （単位:%）	【原数値】 （対前年同期差） （単位:倍、ポイント）	【原数値】 （対前年同期比） （単位:%）	【原数値】 （対前年同期比） （単位:%）
北陸 ブロック	1.68 (0.07)	1.62 (0.08)	1.2	▲1.0	1.13 (0.16)	1.7	▲8.0
新潟 県	1.45 (0.07)	1.40 (0.05)	3.0	▲1.4	0.96 (0.13)	1.2	▲8.0
富山 県	1.92 (0.10)	1.72 (0.07)	▲2.9	▲1.7	1.26 (0.17)	1.7	▲9.2
石川 県	1.78 (0.10)	1.79 (0.13)	3.0	▲1.8	1.20 (0.16)	2.3	▲9.0
福井 県	1.96 (0.01)	1.92 (0.02)	▲0.6	2.7	1.40 (0.22)	1.9	▲4.9

※ 雇用保険被保険者数については、一般、高年齢、特例被保険者の合計値。雇用保険受給者実人員については、一般被保険者の数値である。

## 雇用動向におけるトピック

### ○複合サービス事業で287名の増員求人

郵便物や荷物を集中処理する郵便、物流の拠点を新規に開局するため、区分け、仕分け作業を中心に、フルタイム95名、パートタイム192名の求人申し込みがあった。

○東証一部上場の大手ドラッグストアが、中部圏に積極的に出店を進めており、小売業の新規求人増加の主な要因の一つとなっている。

○スマートフォン、自動車向けの電子部品・デバイス製造業が好調である。

## 企業の生の声

### 1 女性の活躍促進について

- ・男性しかいなかった施工管理職に女性を登用した。
- ・女性の作業環境を改善するため、現場に女性専用の更衣室を整備した。
- ・技術職に女性が配置されていないことから、社内で配置転換希望を募り、社外研修(会社負担)を実施して配置転換を行った。
- ・女性活躍プロジェクトチームを立ち上げ、男性の育児休暇100%取得を目標とするなど男性の育児参画を推進するほか、女性向けキャリアアップ研修、育児休業中職員がスムーズに復帰できるよう復職前面談の実施、託児所付きスキルアップ研修実施など女性活躍に向けて取り組んでいる。
- ・女性客が多くなり、女性目線に答えられる女性社員の必要性に気付いたため、女性の採用、管理職の登用に取り組んだ。この結果、管理職に登用できたが、家庭に無理がかからぬよう配慮が必要と考えている。

### 2 特記事項

- ・非鉄金属・同合金圧延業

国内需要について

- ・トラックの「アオリ」部分の材料製造

平成15年に東京都でディーゼル車規制が実施されたことから、東京都及び周辺地域でトラックの総入れ替えを行ったが、耐用年数が12年と言われているため、買換え時期の大きな需要が出ている。この需要は東京オリンピックまで続くと考えている。

## 担当窓口の声

(1)どのような求職者が就職に結びつきやすいと感じているか

- ・学生、既卒問わず、これまでの振り返り(自己分析、職務経歴の棚卸等)が進んでいる求職者。振り返りが進んでいることで、当事者意識を持って話を受け入れてくれるため、意思決定も迷わずできる。
- ・自己分析ができていること。また、自己分析に基づいて、将来を見据えた就職活動を行っていること。

(2)求職者が重視している要素はどのようなものか

- ・残業が少なく、週休二日制等、ワークライフバランスを重視。また、人間関係や職場の雰囲気気を気にする人が多い。

(3)最近の求職者の特徴的な動きはないか

- ・退職について熟考せず、退職してから相談に来る。
- ・大学等について、早めに就職活動を行う学生と、動き出しが遅い学生の二極化の傾向がみられる。また、平成27年度公務員試験や大手企業に落ちた学生が、定職につかず、平成28年度に再度受験する傾向がみられた。
- ・最近の求職者の動きとして、保護者同伴(主導権は親。本人はあまり話そうとしない。)、依存性が高い(「おすすめの求人はありますか」等、自ら選定しない。)、賃金よりも休日重視(年間休日100日以下は選定外。)、一社一社慎重に選ぶ派と手当たり次第エントリーしている派の差が極端等の特徴がみられる。
- ・仕事を続けることを意識した女性が増加しており、育休取得実績等の両立支援に関心が高まっている。